

19万人のひろば

1日1票 投票できるよ ゆるキャラグランプリ 投票は10月20日(月)まで

ゆるキャラグランプリ2014に、「やっち」がエントリーしています。投票は10月20日(月)までです。パソコン・スマートフォン・携帯電話から、1つのメールアドレスにつき1日1票投票できます。「やっち」への投票をお願いします。投票は、<http://www.yurugp.jp/> から。



▲QRコード

人々の生活とともにあった カッパの言い伝えを解説

9月15日(祝)まで行われている郷土博物館のミニ展示「八千代とカッパ」。8月17日、この関連講演会「千葉のカッパ伝承」が開催され、53人が参加しました。講師は県立中央博物館主任上席研究員の島立理子さん。市内にも、人を川に引きずりこむなどカッパの言い伝えが残っています。悪さをする印象がありますが、人の役に立つことも。カッパから作り方を教わった膏薬を13枚貼りかえる頃には、どんなけがでも完治したという言い伝えから、香取市扇島には「十三枚」と呼ばれる地区があります。12月1日に川へ小豆や餅を供える水難よけの行事「かわびたり」の起源なども解説。参加者からは「カッパを表現する河童と河伯の字の違い」など多くの質問がありました。

■もののけ情報をお寄せください 話を聞いたものなど、もののけの種類、場所、時代、特徴を書いて郷土博物館に設置している「もののけ情報箱」に入れてください。お寄せいただいた情報は、郷土博物館での掲示やミニ新聞で紹介されます。



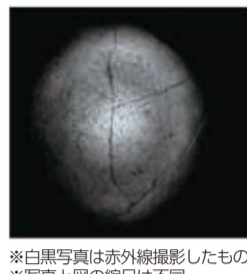
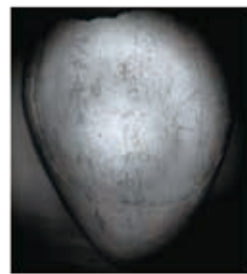
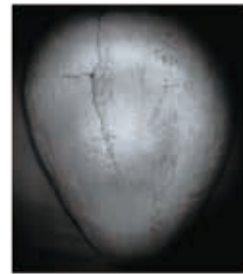
▶東京都台東区の曹源寺は通称「カッパ寺」。御堂には河童の手のミイラが

市内で出土した墨書土器を市文化財に指定

墨書土器とは奈良時代から平安時代に、当時の日常品である土器に文字や絵などが墨で書かれたものです。市内ではこれまで3,900点ほどが出土し、千葉県内では1位、全国でも屈指の墨書土器の出土地となっています。

7月23日、保品地区の^{かみ}上谷遺跡、ゆりのき台地区の^{しらはたま}北海道遺跡、白幡前遺跡、^{ごんげんうしろ}権現後遺跡の4遺跡から出土した12個体を市文化財に指定しました。20年に指定した「石枕」以来、6年ぶり、26件目の指定になります。

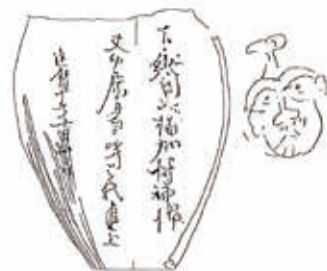
12個体には、地名・人名・年号・人面などが書かれています。祭祀に関わるものとして、「祈念する人の身代わりとして捧げた」などと解釈される「召代進上」の言葉が書かれているものも。神に延命を祈っていたと考えられ、当時の祭祀の在り方を伝える資料として、学術的価値の高いものと評価されています。



※白黒写真は赤外線撮影したもの ※写真と図の縮尺は不同

▲上谷遺跡で出土した^{かみ}甕。村神(村上)の地名や年号などが判読できます

下総國印播郡村神郷
丈部 園刀自咩召代進上
延暦十年十月廿二日



■郷土博物館で新規指定文化財の記念展示会と講演会・説明会を開催

【展示会】▶日時 9月20日(土)～30日(火)午前9時～午後4時30分 (22日(月)・29日(月)は休館)

【講演会】同館学習室で、人間文化研究機構理事、前国立歴史民俗博物館長の平川南さんが講演します。先着100人。事前申し込み不要。▶日時 9月23日(祝)午前10時15分～正午(開場午前9時45分)

【説明会】文化財担当職員が説明します。▶日時 9月23日(祝)午後1時から、2時から、3時から。各回開始時刻に同館企画展示室に集合。各回30分程度

東葉サマーコンサートを開催



▲秀明八千代中学校・高等学校吹奏楽部の演奏

東葉高速鉄道株式会社が主催する東葉サマーコンサート。地域住民に親しみを持ってもらおうと平成9年から行われています。今年は8月21日と22日、八千代緑が丘駅南側広場で開催。沿線の中学、高校合わせて11校が参加し、軽音楽、和太鼓、吹奏楽を披露しました。「生徒さんたちの演奏が楽しみで」と毎年訪れる人も。夏の風物詩として地域に定着しています。生徒たちの心のこもった演奏が始まると、多くの人が足を止め、聞き入っていました。

市内44校が集合。「八千代教育サミット」

8月20日、「八千代教育サミット」が開催され、市内全ての小・中・高校、特別支援学校、大学など44校が集まりました。各校からは校長や大学学部長などが参加。市内全校が一堂に会するのは初めてのことです。

今回は、「教育を核とした地域社会の構築をめざして」がテーマ。基調提案では実施中の地域連携の取り組みが発表されました。後半は「学校現場の現状と課題」をテーマにグループディスカッション。学校の種類を超えた交流や地域との関わりを深めるためには積極的な働きかけが重要など、活発な意見が交わされました。



▲7つのグループに分かれてディスカッション

八千代歌壇

※今号は都合により休載します。

第41回市民文化祭短歌大会のお知らせ

▼日時 11月9日(日)午前11時開演。10時30分から受け付け

▼場所 八千代台東南公共センター5階ホール ▼選者 三井修(「塔」選者) ▼投稿 (はがきに未発表作品一首、住所、氏名、電話番号を書き、10月20日(月)までに〒276-0034八千代台西7-2-42百瀬水枝子(485)5520へ郵送。会費1000円。当日受け付けで頂きます。昼食、飲み物は各自でお持ちください)

八千代市短歌会におかれましては、先の八千代歌壇選者の小島真一さんの没後、本年6月までの12年余にわたり八千代歌壇の選者をしていただきました。

今般、同会の講師に就任された佐渡洋子さんに八千代歌壇の選者をお願いさせていただけることになり、7月よりお願いしています。長年にわたり、選歌、選評にご尽力いただきました八千代短歌会に心より感謝を申し上げます。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

両腕に想い出詰めた旅バック 勝田 喜田 橙
安全ハスビード落とす通学路 勝田 岡安ゆき義
プライドをすてて生きるも年の功 緑が丘 桃井 もも
水増しで入り卒業総代で 勝田 台中 隆
混浴の表示偽りない足湯 勝田 石井 恒生
静かなる大河に憂さを流し切る 八千代台南 菊池ひろ子
熱中症対策ですとまた昼寝 八千代台南 河田 達男
老木の脇にいつしか新芽吹き 勝田 大石しずか